

京セラ製 簡易MDM Device Control アプリ



EMMなどのサービスを利用せず、端末操作だけで機能制限が設定できます。比較的小規模の導入で、機能制限を実施したい場合に適したMDMです。

1

業務で不要な機能を簡単ブロック

電話機能やカメラ機能、Wi-Fi®機能などの機能を個別に制限し、端末を業務に適した状態に設定することが簡単にできます。

2

端末 + アプリだけで設定が完結

設定はDevice Control アプリをインストールした端末※だけで完結。PCやネットワーク、サーバーなどの環境は不要です。

※設定を行う管理用端末と、設定を配布する配布用端末のモデルが異なる場合、設定できる機能が限定される場合があります

3

設定の複製もアプリだけで簡単に

設定情報のコピーは、アプリを使ってQRコードで簡単複製。特別な知識がなくても設定の展開が可能です。



制限設定が可能な端末機能 ※印は簡易設定画面での設定が可能な機能です。

- 通信機能：Wi-Fi※、Bluetooth®※、位置情報（GPS）※、モバイルデータ通信※、テザリングなど
- 電話機能：発信・着信、電話帳
- デバイス機能：電源、カメラ※、USBデータ通信※、SDカード※、キー操作、バイブレーション、音量、マイクなど
- アプリ：起動、無効化、インストール※、アンインストールなど

その他、Device Control アプリでできること

- データの初期化の無効化、端末のKIOSK化、ファームウェアアップデートの無効化など

Device Control アプリと一般的なMDMのそれぞれの特長

	Device Control アプリ	一般的なMDM
タイプ	スタンドアロン型	ネットワーク型
機能制限	○	○
端末状況把握	—	○
セキュリティ対策	—	○
導入規模	小規模から導入可能	中～大規模
費用	無料	月額
閉域ネットワークでのアップデート	有償（お問い合わせください）	一部対応

よくあるご質問

- Q** 通信契約のないWi-Fiモデル端末でもDevice Control アプリは利用可能ですか？
- A** Wi-Fiモデルの端末でもご利用いただけます。Device Control アプリの初回設定時に、Wi-Fiでインターネットに接続する必要があります。
- Q** 既に利用している他社MDMと併用して使うことはできますか？
- A** 既に他社MDMが端末の管理権限を持っている場合、Device Control アプリはご利用いただけません。
- Q** 既に使用している端末に、Device Controlアプリを導入できますか？
- A** 初期有効化は工場出荷状態の端末でのみ実施できます。そのため、利用中端末に導入する場合は初期化が必要となります。
- Q** Device Control アプリの管理者アカウントはどのように登録しますか？
- A** 専用の登録フォームから管理者用メールアドレスを登録すると、パスワード設定用のメールが届きます。メール内のURLから初期設定を行ってください。
- Q** 管理用端末とは何ですか？
- A** Device Controlアプリの初回設定や、ポリシーの転送元を管理用端末としております。配布用端末として設定した端末であってもポリシーの編集や管理用端末のメニューからポリシーの転送が可能です。そのため、配布した端末でパスワードを入力されるとユーザーにより制限が解除される恐れがあるため管理者用のパスワードは厳重に管理してください。
- Q** 管理者として登録したメールアドレスを後から変更することはできますか？
- A** 変更は可能です。以下のフォームよりメールアドレス変更の申請を行ってください。<https://www3.kyocera.co.jp/ce-sim-dcapp-inquiry/> 変更後、Device Controlアプリを利用しているすべての端末で以下の操作をお願いいたします。
- ・ Device Control を起動
 - ・ 設定メニューから登録ユーザーの削除を実行
 - ・ 新しいメールアドレスでサインインし直す
 - ・ ポリシーを再適用
- Q** 管理者用メールアドレスは、部署の共有メールアドレスでも登録できますか？
- A** 共有メールアドレスでも登録可能です。ただし、後から変更が発生すると再設定が必要になるため、将来変更のないアドレスを推奨します。
- Q** 管理者アカウントの初期パスワードは後から変更できますか？
- A** 変更は可能です。以下のフォームよりお手続きください。<https://www3.kyocera.co.jp/ce-sim-dcapp-inquiry/> 端末をインターネットに接続できない場合は、全端末の初期化および再設定が必要になります。（端末の初期化をDevice Control アプリで制限している場合は制限を解除してください。制限解除のためには設定時のパスワードが必要となりますのでパスワードの管理は徹底ください）
- Q** 管理用端末から配布用端末にコピー（複製）される内容はありますか？
- A** 機能設定に関する内容のみです。管理用端末にインストールされたアプリは配布用端末へコピーされません。
- Q** 複数台の端末に同じ設定をまとめて適用することはできますか？
- A** Android のQuick Share機能を利用して作成したポリシーの転送を行えます。詳細な手順については「Device Controlアプリ取扱説明書」をご確認ください。
- Q** ポリシーを変更したい場合の注意点はありますか？
- A** ポリシーの変更はそれぞれの端末で実行する必要があります。最初に1台のポリシーを編集して他の端末へ転送することが可能ですが、同じ名称のポリシーを上書きすることはできないため、転送元のポリシーの名称を変更いただくか、転送先のポリシーを削除いただく必要があります。
- Q** 業務に不要なアプリをすべて使えないようにすることはできますか？
- A** ユーザーが起動できるアプリは制限できますが、端末の動作に必要な一部アプリは制限できない場合があります。
- Q** アップデートは制限できますか？
- A** 本体OSおよびアプリのアップデートは制限できます。しかし、特定アプリのみを指定したアップデート制限はできません。
- Q** 遠隔操作で設定変更を行うことはできますか？
- A** 遠隔で設定変更することはできません。
- Q** 特定の用途に画面を固定すること（KIOSK化）はできますか？
- A** 特定アプリなどに画面を固定したKIOSK化に対応しています。

京セラ株式会社

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
<https://www.kyocera.co.jp>

※Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
※Google、Android、Google Play、Chrome、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
※その他の社名および商品名/サービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

○ご使用にあたり、ソフトウェア使用許諾契約書にご承諾いただく必要があります。
○製品仕様およびサービス内容は、予告なく変更することがあります。
○掲載の内容は2026年3月現在のものです。
○本資料については、無断で複製、転載することを禁じます。
© 2026 KYOCERA Corporation

Device Control アプリについてのお問い合わせはこちらから
<https://www3.kyocera.co.jp/ce-sim-dcapp-inquiry/>